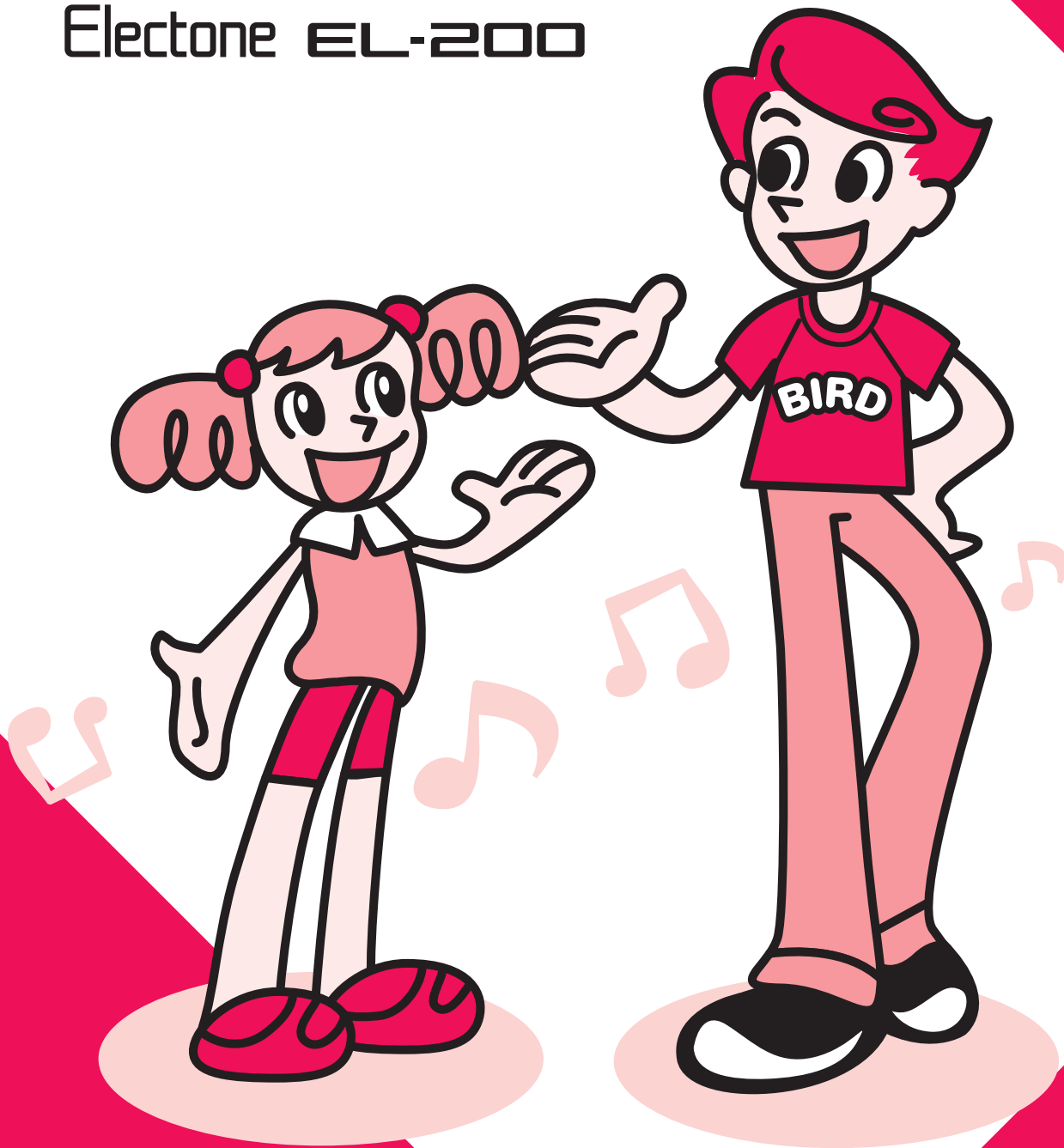



バードくん
と
ことりちゃん


EL


はじめこガイド


Electone EL-200

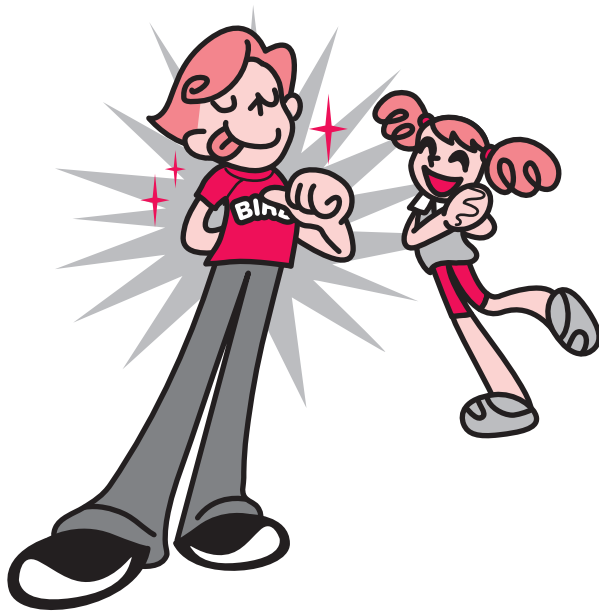
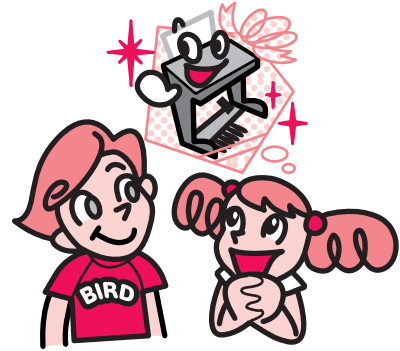



 やあ、ことりちゃん。久しぶり!


 きゃー、バードくん、元気だった?^{げんき}

 まあね～。
ところで、ことりちゃん、
エレクトーン買ってもらったんだってね?


 そうなの～。うれしくて。
きょうはエレクトーンのこと
いろいろ教えてもらおうと思っ^{おも}て来た^きの。



 まかせてっ。なんでも僕^{ぼく}に聞^きいて。

 つよ^{つよ}みかた^{みかた}
強い味方だわっ。

エレクトーンって初^{はじ}めてだから、
ホント初^{しよほ}歩^{しよほ}の初^{おし}歩^{おし}から教^{おし}えてほしいの。
よろしくお願^{ねが}いします。

 じゃっ、始^{はじ}めようか。

バードくん

エレクトーンに^{かん}関することなら
な～んでも知^しってる。
なにしろ、エレクトーン^の
ホームページも開^{かい}設^{せつ}している
ほど^の達人^{たつじん}。

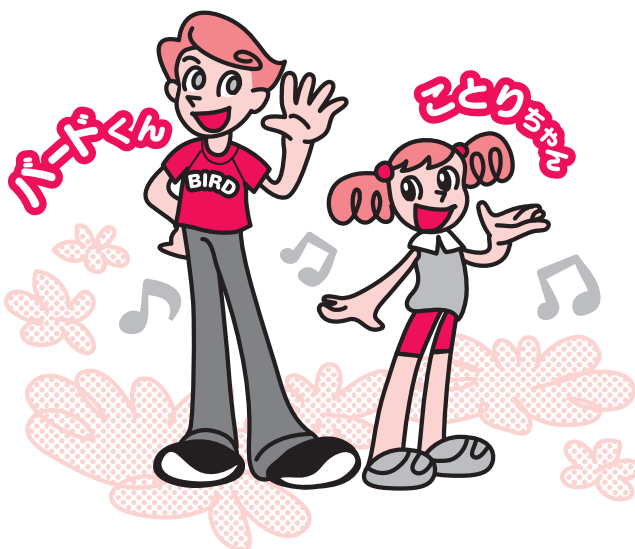


ことりちゃん


しょうがく^{しょうがく} ねんせい^{ねんせい} おんな^{おんな} こ^こ
小学6年生の女の子。
さいきん^{さいきん}
最近エレクトーンを
か^か
買^かってもらった。
ひ^ひ
ピアノはちょっと弾^ひけるけど、
エレクトーンは初^{しよしん}心^{しん}者^{しゃ}。
なんに^{なんに}でも興^{きょう}味^みあり!


もくじ


準備 <small>じゅんび</small> をしよう	4
エレクトーン パワーオン!	5
パネルの紹介 <small>しょうかい</small>	6
EL-200ってどんな音 <small>おと</small> ?	8
キーボードパーカッションってなに?	12
天国 <small>てんごく</small> と地獄 <small>じごく</small>	14
メロディを演奏 <small>えんそう</small> してみよう	17
EL-200 基本操作 <small>きほんそうさ</small>	20
パネルの音 <small>おと</small> を聴 <small>き</small> いてみよう	21
リズムの音 <small>おと</small> を聴 <small>き</small> いてみよう	22
レジストレーションってなに?	23
レジストレーションをフロッピーディスクに保存 <small>ほぞん</small> しておこう	25
リバーブってなに?	26
サステインってなに?	27
フットスイッチってなに?	28
レジストレーションシフト	29
メトロノーム機能 <small>きののう</small>	30
市販 <small>しはん</small> の曲集 <small>きょくしゅう</small> の使い方 <small>つかいかた</small>	31
エレクトーンのことのでわからないことがあったら・・・	33
EL-200 こんなときは・・・こうしよう!	34
エレクトーン用語 <small>ようご</small> いろいろ	35





じゅんび 準備をしよう


 さあ、まずはいすに^{すわ}座ってみて。

 はい!こんな^{かん}感じ?

 そう。でね、ふつうは^{うえけんばん}上鍵盤に^{みぎて}右手、^{したけんばん}下鍵盤に^{ひだりて}左手、^{けんばん}ペダル鍵盤に^{ひだりあし}左足ね。
^{みぎあし}右足は、この^{おく}奥にあるペダルにのせるんだ。

 この^{みぎあし}右足のペダルはなにをするの?

 エクスプレッションペダルっていいね、そこで^{きよく}曲の^{きょうじやく}強弱を^{そうさ}操作するんだよ。
でね、^{いち}位置は^{じぶん}自分のお^{へそ}へそが、この^{ちゆうおう}中央の^い“ド”の^い位置にくる感じ。
エレク^{からだ}トーンと^{きより}体との^{みぎあし}距離は、^{みぎあし}右足をペダルにのせて、^{かる}ひざが^{まが}軽く^{ていど}曲がる程度。
つっぱらないようにね!
^{しせい}姿勢は^{せなか}背中があんまり^{まる}丸くならないように……ってことで。

 こうね?ふいっ。おもしろい。

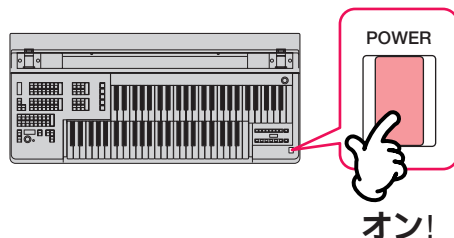


エレクトーン パワーオン!

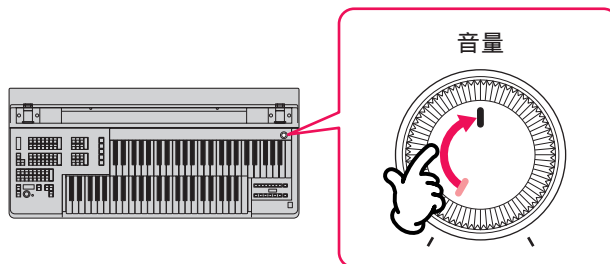


さて、エレクトーンのでんげん（電源）を入れてみよう。てしゅん（手順）はね。

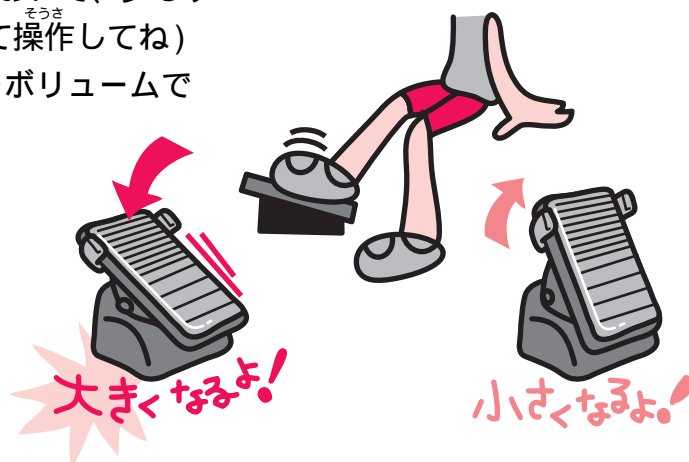
1. パネルみぎした（右下）のPOWERスイッチオン!






2. ぜんたい（全体）のボリュームをセット。
（ここではとけい（時計）でいう12時（じ）のところにしてみるけど、へや（部屋）のひろ（ひろ）さによってちょうせつ（調節）してね）

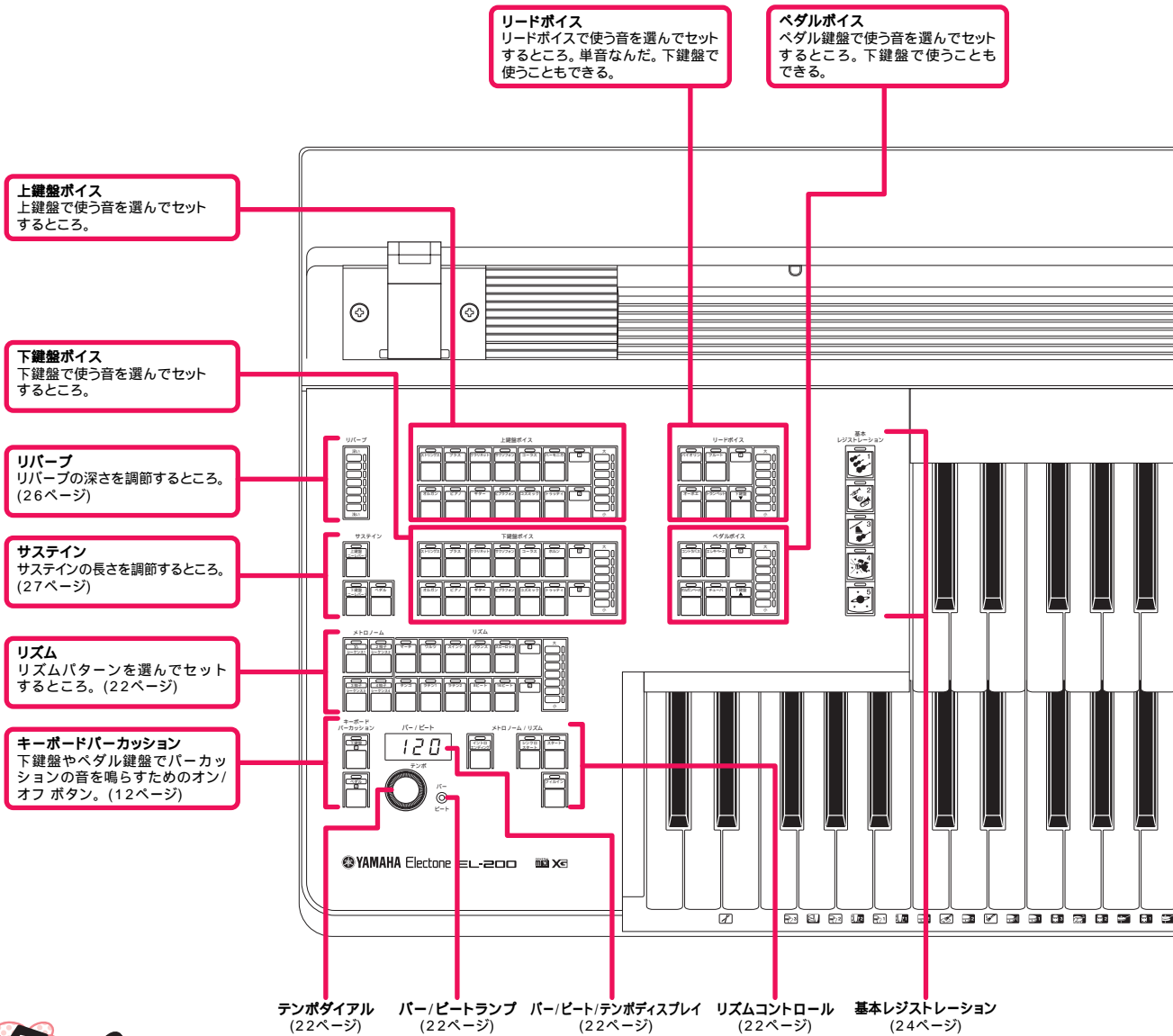


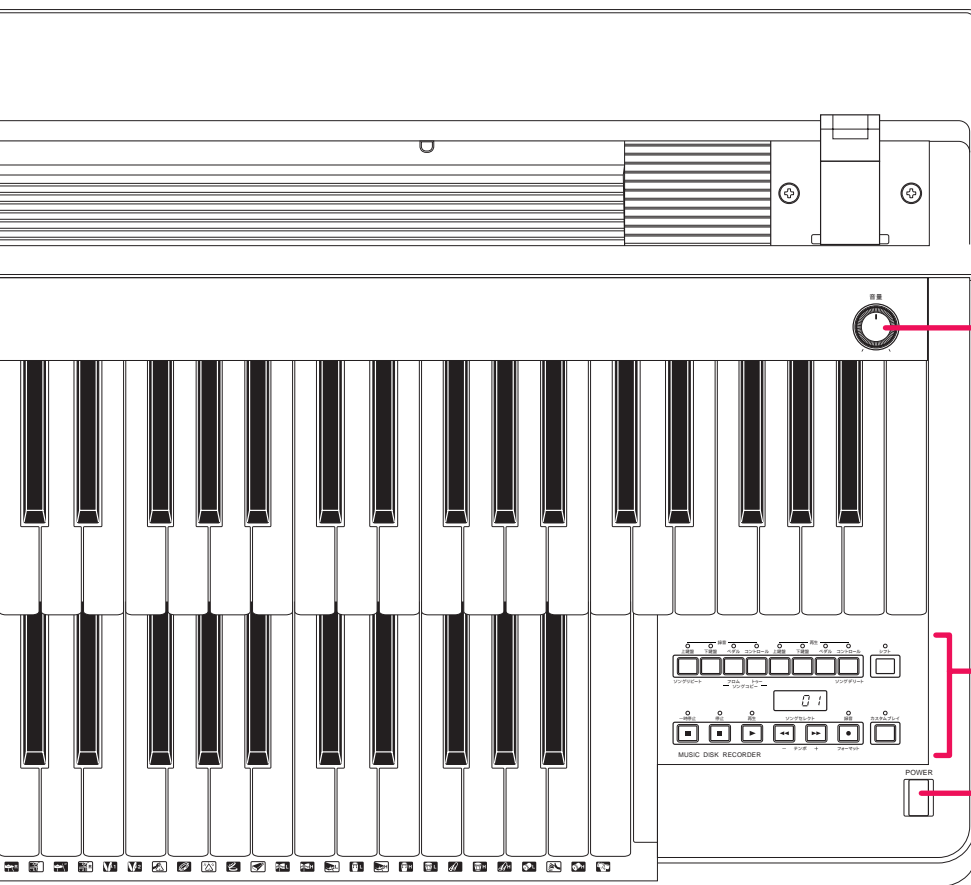
3. エクスプレッションペダルをあげておいて、すこ（少し）ずつ踏み込んでみよう！（みぎあし（右足）をのせてそうさ（操作）してね）
いちばんおく（奥）まで踏み込むとマスターボリュームでき（き）めたさいだい（最大）のおお（おお）きさ（大きさ）になるんだよ。



しょうかい パネルの紹介

- 
 さて、このエレクトーンのパネルの説明をしよう。^{せつめい}
- 
 エレクトーンのパネルって、ボタンがいっぱいね。
- 
 そうだね、こうして1つ1つまとまって並^{なら}んでいるでしょ。
 それぞれ、役割ごとに集まっているんだ。簡単^{かんたん}に説明^{せつめい}しようね。





音量
エレキーン全体の音量を決める
ところ。

ミュージックディスクレコーダー
通称MDR。

パワースイッチ
主電源のスイッチ。

そうにゆうくち
フロッピーディスク挿入口
フロッピーディスクを入れるところ。

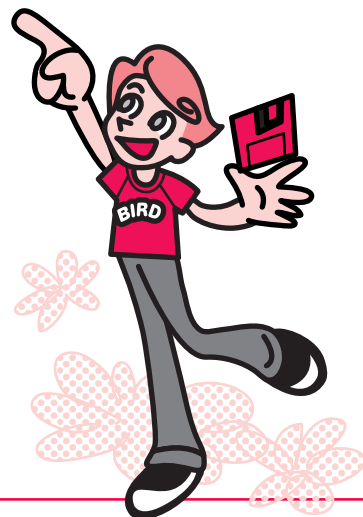


ユーズランプ
フロッピーディスクが
入っている時はランプ
がつく。


イジェクトボタン
フロッピーディスクを
取り出すボタン。



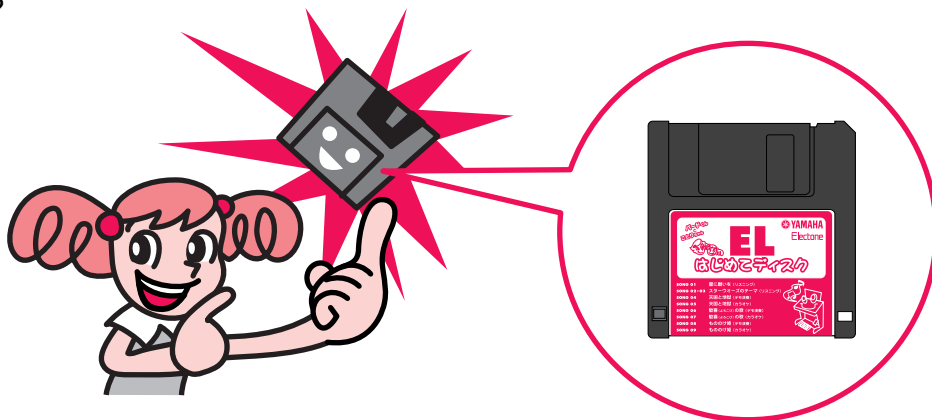
ディスエーブルボタン





EL-200ってどんな音?^{おと}


 エレクトーンといっしょに“ELはじめてディスク”というフロッピーディスクが
はい入っていたでしょ?

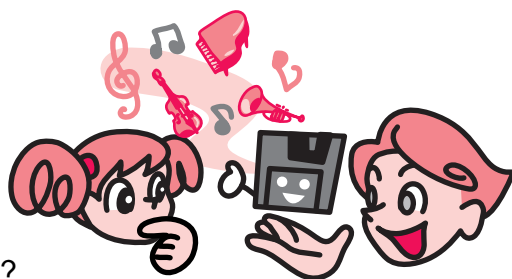
 これ?





 そうそう。それにはね、たくさんのエレクトーンのリジストレーションや演奏^{えんそう}がはい入っているんだ。


 リジストレーション・・・??

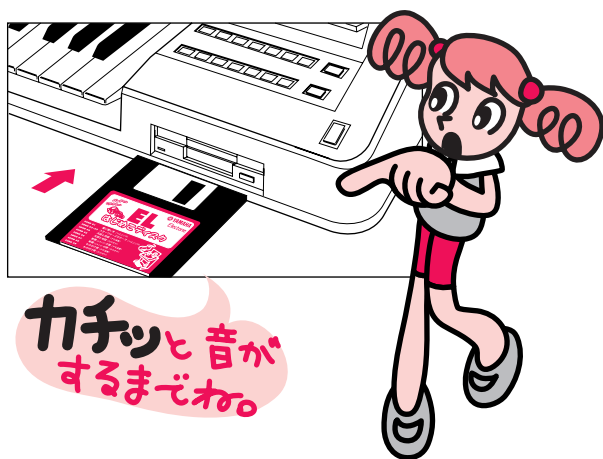
 まっ、くわしくは^{あと}後で。
まずは音を^{おと}聴いてみようよ。



 そうねっ。早く^{はや}聴きたい。で、どうやるの?
このフロッピーディスクを^{つか}使うのよね。

 そうだよ。
そのフロッピーディスクをミュージックディスクレコーダー(以降: MDR)に^{いこう}入れてみて。

 ここね。



コラム

フロッピーディスクの内容はこうなっているよ!

ELはじめてディスクの内容

Song No	曲名	内容
01	星に願いを	リスニング
02/03	スターウォーズのテーマ	リスニング
04	天国と地獄	デモ演奏
05	天国と地獄	キーボードバーカッション、カラオケ
06	歓喜の歌	デモ演奏
07	歓喜の歌	メロディ奏、カラオケ
08	もののけ姫	デモ演奏
09	もののけ姫	メロディ奏、カラオケ

ここでMDRについてちょっと勉強しておこう!



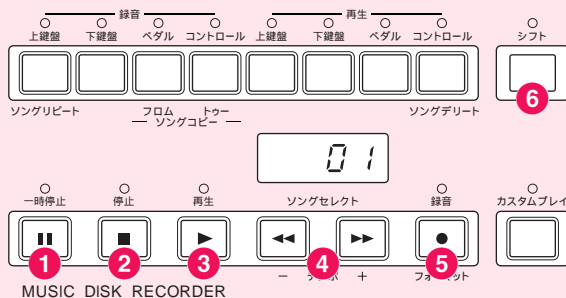
MDRって本名はミュージックディスクレコーダーっていいね、
エレクトーンに関する色々な情報を、再生させたり、録音/保存しておいたりする機械なんだ。



たくさんボタンがあるわね。



ここでは、基本的な操作で使うボタンの役割を覚えておこうね。



各ボタンの役割


- ① 一時停止ボタン (||) 演奏を途中で止める。
- ② 停止ボタン (■) 演奏を終了する。
- ③ 再生ボタン (▶) レジストレーションを読み込む。演奏を始める。
- ④ ソングセレクトボタン (◀▶) ソングナンバーを選ぶ。
- ⑤ 録音ボタン (●) レジストレーションを保存、演奏を録音する。
- ⑥ シフトボタン パネルボタンの表示とは別の機能を選ぶときに使う。


曲のテンポを遅くするときは ⑥ + ④ [◀◀ (-)]
 曲のテンポを速くするときは ⑥ + ④ [▶▶ (+)]
 曲のテンポを元に戻すときは ⑥ + ④ [◀◀ + ▶▶ (+ - 同時)]




くわしくは、取扱説明書30ページを参照してネ!




 ソングセレクトボタン(◀◀/▶▶)を押して、MDRディスプレイを見てごらん。

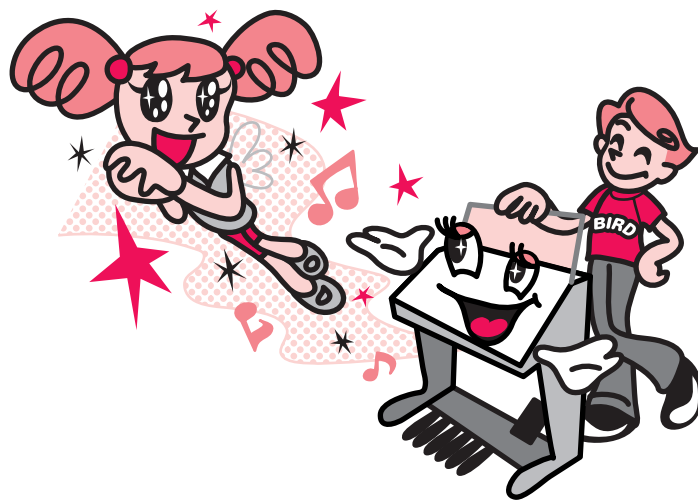
 わ～、数字が変わった!


 ここでソングの番号を選んでね。
まずは1曲めから聴いてみよう!


『01：星に願いを』

 ソングセレクトボタン(◀◀/▶▶)で、ソングナンバー01を選んで、

 それで、再生ボタン(▶)を押すのね!

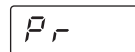


 どお? 素敵でしょ。

 う～ん。すごーくいい。

 コラム


市販のフロッピーディスクはプロテクト仕様になっているので、MDRのソングナンバーの横にPrの文字がでます。



 曲解説

星に願いを


1940年に公開されたディズニーアニメ映画「ピノキオ」のテーマ曲です。映画の冒頭、女神に願いをかけたゼペットじいさんに、こおろぎのジミーが語りかけるように歌います。曲全体がやさしい気持ちに包み込まれるような心地よいメロディが印象的です。


 じゃあ、さっそく次の曲。

『02：スターウォーズのテーマ』


ソングセレクトボタン(◀◀/▶▶)で、ソング02にして・・・


再生ボタン(▶)オン!

 うわあ～～～迫力ある～。
ほんとにたくさんの音が出るのねえ。

 この曲では、エレキの音のほかにXG音源っていう音源も使っているんだ。
さらに豪華な感じがするでしょ。
(くわしくは取扱説明書39ページ参照)



 8ページの表だと、ソングナンバーが02/03となっているんだけど・・・??

 この曲は1曲で2つのソング分のレジストレーションを使っているんだ。
ネクストソング機能っていう便利な機能を使って再生中に次のレジストレーションを読み込んで
いるから、聴くのは02だけのようで、実は途中から03になっているんだよ。

曲解説

スターウォーズ

1976年、全米で公開されたシリーズ第1作目より圧倒的な支持を得ているジョン・ウィリアムズの代表作。主人公、ルーク・スカイウォーカーをイメージする力強いメロディと、勇ましい反乱軍のファンファーレが効果的に使われています。

キーボードパーカッションってなに？

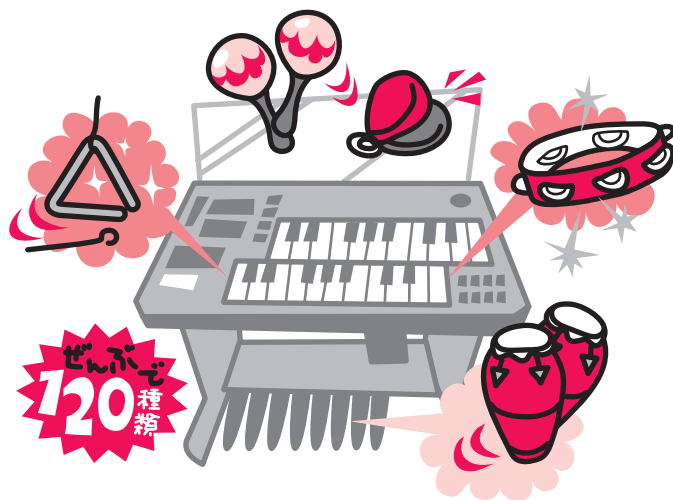
👧 キーボードパーカッション？

👧 その名のとおり、**鍵盤で打楽器！**

ある**鍵盤**に打楽器音をセットして、その**鍵盤**をたたいて打楽器音を出すことをいうんだけど・・・

たとえば、**下鍵盤**「ド」の音にトライアングル、「ソ」にタンバリンとか・・・自由にセットできちゃうんだ。**上鍵盤**、**下鍵盤**、**ペダル鍵盤**と、どこでも自由さ。

なにしろエレクtoonには**120種類**のパーカッションが入ってるんだから。



コラム
キーボードパーカッションの
くわしいことは、**取扱説明書**
22ページを**参照**してね！

ドラムの音をセットすれば、ドラマーにだってなれるんだ。

なにはともあれフロッピーディスクの**04**を聴いてみよう！

『**04：天国と地獄(デモ演奏)**』

再生ボタン(▶)オン！

👧 いろいろなパーカッションが鳴ってたでしょ。人の声まであったね。

この曲は**下鍵盤**でキーボードパーカッションをたたくようにいろいろなセットが
しまってるんだ。

組み合わせはね、**8セット**(ユーザー1~8)あるんだ。EL-200ではつくることはでき
なくても、こうやってフロッピーディスクを読み込むことで使うことができるんだよ。
この曲でも**8つ**のセットを使ってるね。

ユーザー:1
メモリー1、2、6で使う



ユーザー:2
メモリー8で使う



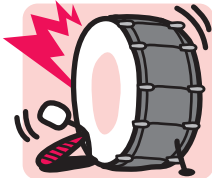
ユーザー:3
メモリー3で使う



ユーザー:4
メモリー5で使う



ユーザー:5
メモリー5で使う



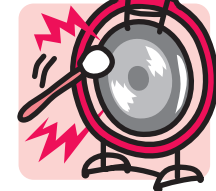
ユーザー:6
メモリー7で使う



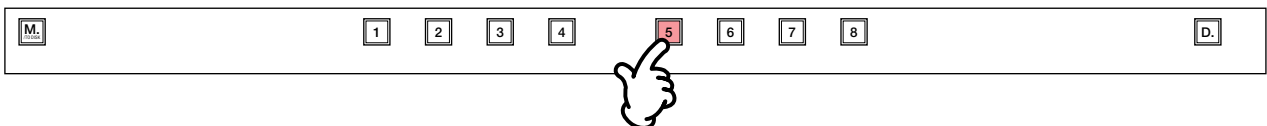
ユーザー:7
メモリー10で使う



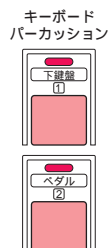
ユーザー:8
メモリー10で使う



たとえば、メモリー[5]では、キーボードパーカッションの
ユーザー4とユーザー5を使^{つか}っていてね。
メモリー[5]を押^おしてみたら。



2つランプがついているね。



これはね、[1]のボタンにはユーザー4(下鍵盤の「ド」の音にハンドクラップをセット)、
[2]のボタンにはユーザー5(下鍵盤の「ド」の音にバスドラムヘビーをセット)をセット
しておいて、ユーザー4とユーザー5を同時に^{つか}って、1つの「ド」の音で2つの楽器が
鳴るようになっているんだね。



なるほど!



じゃ、楽譜^{がくふ}を見てみよう。この楽譜^{がくふ}が、実際^{じっさい}にキーボードパーカッションをたたくため
のものだよ。



ちょっと待^まって、確認^{かくにん}! 使う音^{つが}は、ド、レ、ミ、ファ、ソね。OK!



もういちど、デモンストレーション^きを聴きながら楽譜^{がくふ}を見てみようね。

てんごく じごく 天国と地獄

さつきよく
作曲/オッフエンバック

へんきよく
編曲/稲垣千章



MEMORY 1 MEMORY 2 MEMORY 1 MEMORY 2 MEMORY 1 MEMORY 2

トライアングルオープン

MEMORY 1 MEMORY 2 MEMORY 1 D.S. time MEMORY 8 MEMORY 3 (D.S. time repeat)

シンバルマーチ

かけ声2(イヨー) (D.S. time)

タンバリン to ♯ 1. ビブラスラップ 2.

かけ声3(オー) (D.S. time) かけ声1(イヤー) (D.S. time)

MEMORY 4 MEMORY 5 MEMORY 4 MEMORY 5 MEMORY 5

ハンドクラップ + バスドラムヘビー

1. 2.

MEMORY 6 MEMORY 7 C

クラッシュシンバル1 ティンパレス 3ハイ

ティンパレス 3ロー

1. | 2. | D.S. to **A**

Coda

MEMORY

9

フィンガースナップ

MEMORY

10

D

オーケストラシンバル1 + バスドラムマーチ

1.

2.

オーケストラシンバル1 + タムタム



じゃあ今度は、ことりちゃんが実際に鍵盤をたたいて、キーボードパーカッションで曲に参加してみよう。

ソング05にカラオケのソングがちゃ～～んと用意されているよ!



ちょっと部分練習してみて。



楽譜のメモリーボタンを押して、たたいてみるのね。メモリー1と2ではドの音だけね。

メモリー8・・・きゃあ～～声が出てきた・・・・・・・・・・。

準備OK～!

『05：天国と地獄(カラオケ)』

再生ボタン(▶)オン!



イントロの4小節をよーく聴いて・・・。リズムにのってね。



めちゃ楽しい～



コラム

テンポを変更するには・・・

MDRのシフトボタンを押しながらソングセレクトボタン(◀▶)を押すことによって、テンポの速さを変更することができます。通常のテンポを100%と考え、遅くするには90%、80%・・・と下げていきます。(くわしくは本書9ページあるいはとりあつかいせつめいしょさんしょう取扱説明書42ページ参照)



曲解説


天国と地獄


チェリストであり、オペレッタの作曲家でもある、オッフェンバックが、ギリシャ神話のオルフェウスとエウリディーチェの悲しい恋の物語を題材にして作曲した、オペレッタ「天国と地獄」の序曲。


おなじみの名曲を、キーボードパーカッション機能を使って、リズム打ちしてみましよう。

パーカッションやかけ声・・・盛りだくさんです!

えんそう メロディを演奏してみよう

 さて、今度は、実際にメロディを演奏してみようね。
曲名は『**歡喜の歌**』。


 あのベートーベンの？


 そう。それがね、原曲とはかなり違ったエレクトーン
ならではの楽しいアレンジなんだ。
まずは、楽譜(別紙)見ながら聴いてみよう。




『06：歡喜の歌(デモ演奏)』

再生ボタン(▶)オン!

 すごーい。おもしろいアレンジね。テンポも速いし、ついていけるかしら・・・

 がんばって。最初はチョット遅く弾いてみる？
(9ページ参照)


じゃあ、用意はいいかな？
イントロの6小節を待って入るんだよ。

 わかったわ。ドキドキ。



『07：歡喜の歌(カラオケ)』

再生ボタン(▶)オン!

 だんだん慣れてきたら、テンポも上げていって、
最後はもとのテンポ(100%)に挑戦してみようね。



コラム

メモリーナンバーを変更しながら、
リズムを使わずにゆっくり曲の
練習をしたい場合は、レジス
トレーションシフトユーザー機能
を使おう!(29ページ参照)

曲解説

歡喜の歌

F. シラーの詩「歡喜に寄せて」によるメロディが有名な、L.V. ベートーベンの最高傑作。
当時、交響曲と合唱という組み合わせは異例なことで、副題の「合唱付き」はここからきています。
このフロッピーディスクでは、原曲がクラシックとは思えない、アップテンポのノリの良い軽快なリズムの
アレンジになっています。[A]のメロディは単調にならずにリズム感を保ちながら弾いてみましょう。
(この曲の強弱は自動でつきます。)



さあ、もう1曲演奏することができるよ。
 今度は、ポップスオーケストラアレンジの「もののけ姫」を
 聴いてみようか。

『08：もののけ姫(デモ演奏)』

再生ボタン(▶)オン!



楽譜とサイズは確認できたかな?



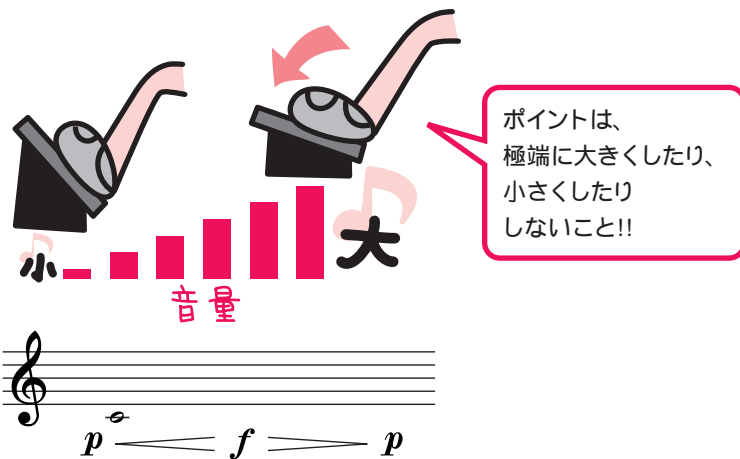
多分。このテンポならなんとかついていけるよーな・・・(ちょい不安)



さて、この曲は自分で強弱を付けて弾くようにできているんだ。
 右足のエクスプレッションペダルを使って、強弱をつけながらメロディを奏でる。
 チョット大変だけど挑戦してみよう!



メモリー[1]の音色で、練習してみよう。




最初はp(ピアノ)。小さくね。徐々に大きくしていってみよう。
 f(フォルテ)が大きく。逆もやってみて・・・だんだん小さく・・・。




曲解説

もののけ姫

1997年の宮崎アニメ「もののけ姫」のテーマ曲。
 “もののけ姫”サンが眠るかたわらで、そっと見守るアシタカ・・・。「恋」と「慈愛」と「憐れみ」が入り交じった
 アシタカのまなざしを、カウンターテナー米良美一が透明感あふれる歌声で表現していた曲です。
 メロディのフレーズ感を大切に、ゆったりと表情豊かに演奏しましょう。エクスプレッションでの表現はあまり
 極端になり過ぎないように注意してください。

 あし^{あし}がガクガク^{うご}動く～～

 あしくび^{あしくび}をやわらかくして、ちから^{ちから}抜いて・・・!




<・・・ことりちゃん奮闘中!!!・・・>




コラム

メモリーナンバーを^{へんこう}変更しながら、リズムを^{つか}使わずにゆっくり曲の練習^{ねんしゆ}をしたい場合は、レジストレーションシフト機能^{きのう}を使おう!
(29ページ^{さんしやう}参照)

 では、カラオケに^あ合わせて演奏^{えんそう}してみようね。

『09：もののけ姫^{ひめ} (カラオケ)』

再生ボタン(▶)オン!

 ^{みぎて}右手で演奏^{えんそう}するのは **A** からだよ。

この曲の強弱^{きよく きようじやく}はエクスペッションペダル^{つか}を使って、ことりちゃんがコントロールしてね。

最後^{さいご} **D** の右手^{みぎて}はお休み^{やす}。



きほんそうさ EL-200 基本操作

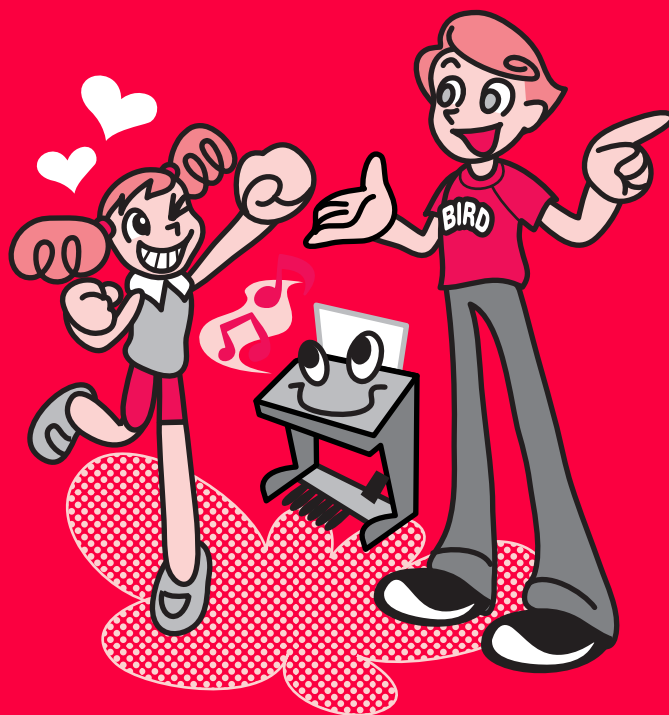
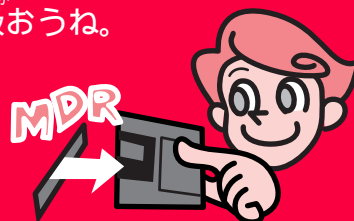
 あー楽しかった!!エレクトーンってスゴイ。超豪華!

 ねえ、せっかくだから、EL-200の超基本的な操作を覚えておこうネ。

 覚えられるかしら・・・?でも、興味あり!

 使っていたフロッピーディスクは取り出してしまっておいて。

フロッピーディスクはとってもナイーブだから大切に扱おうね。



パネルの音を聴いてみよう

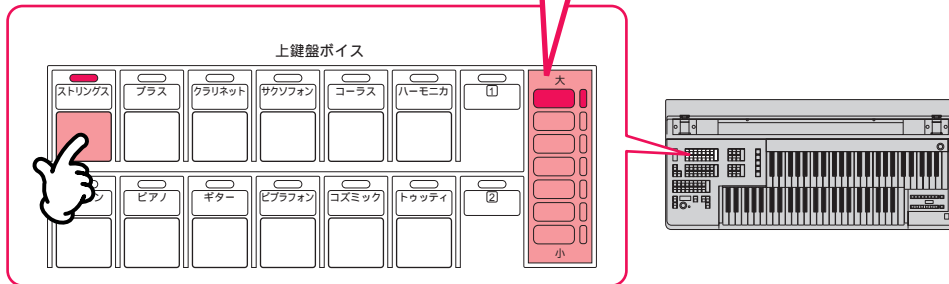


上鍵盤ボイスには、たくさんのボタンがあるよね。その中には、そこに書いてある楽器の音が入っているんだよ。

さっそく音を聴いてみようね。

ストリングスのボタンを押してみて!

ボリュームを上げておいてね!



ここね。これがストリングスかあ。



12個も並んでいるんだから、順に音をだして聴いてみようね。



そーね。ねえねえ、こっち、下鍵盤ボイスも同じ?



基本は同じだよ。楽器の名前よく見るとホンのちょっと違うんだ。解る?



え〜っ・・・、えーと。

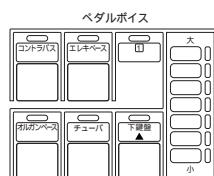
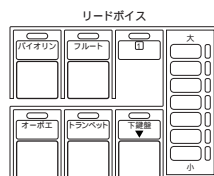
あっこね。上鍵盤はハーモニカだけど、下鍵盤はホルンなんだ。



ここってボタン少ないね。



ここはね、リードボイスっていいね、おもにソロをとる楽器が集まっているんだ。このリードボイスと、ペダルボイスはね、単音(1音 = 和音にならない)なんだよ。



コラム

市販の曲集などの中はEL-200でセットできる音色以外の音をたくさん使っています。

EL-200自体では固定の音色ですが、曲集など上位機種で制作したものはきちんと再生できます。

EL-200の大きな特長です。



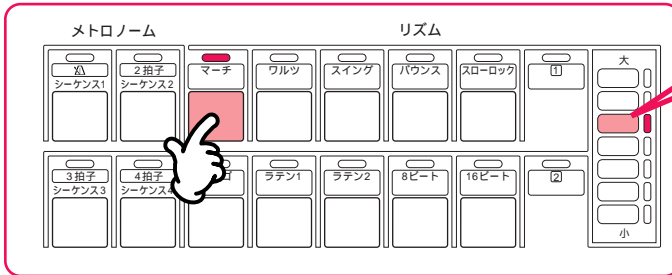
ランプがつくよ!

EL-200は、上位機種EL-500のデータがすべて使えるんだ!

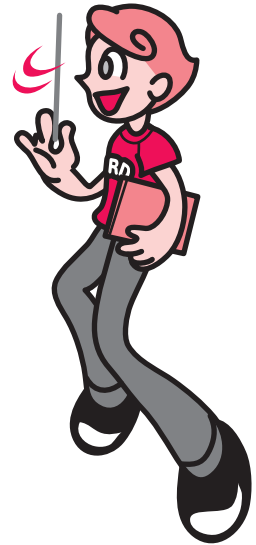
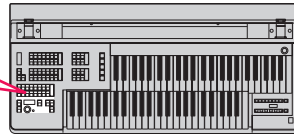
リズムの音を聴いてみよう



パネルのリズムセクションには、たくさんのボタンがあるね。その中には、そこに書いてある名前（なまえ）のリズムパターン（はし）が入っているんだよ。
さっそく音を聴いてみようね。
マーチのボタンを押してみよう！



ボリュームを上げておいてね！



ここね。・・・これがマーチのリズムかあ。



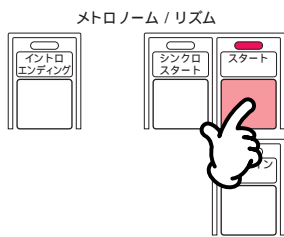
10個も並んでいるんだから、順（じゆん）に音をだして聴いてみようね。



そーね。



スタートボタンでリズムがスタートするよ。



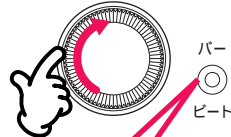
オン!

テンポを変えてみよう

パー/ビート



テンポ



パー
ビート

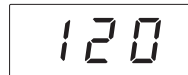
小節の1拍めで光るよ!



コラム

リズムがストップしているときは、テンポを表示。

パー/ビート



リズムがスタートしているときは、

パー/ビート



小節数 表示 ビート(拍) 表示



コラム

市販（しはん）の曲集（きよくしゅう）などの中（なか）にはEL-200でセットできる音色（おんしよく）以外のリズム（リズム）をたくさん使（つか）っています。

EL-200自体（じたい）では固定（こてい）のリズムパターン（パターン）ですが、曲集（きよくしゅう）など、上位機種（じょうい きしゆ）で制作（せいさく）したものは

きちんと再生（さいせい）できます。

EL-200の大きな特長（とくちよう）です。

ランプがつくよ!



EL-200は、上位機種（じょうい きしゆ）EL-500のデータ（た）がすべて使（つか）えるんだ!

レジストレーションってなに？



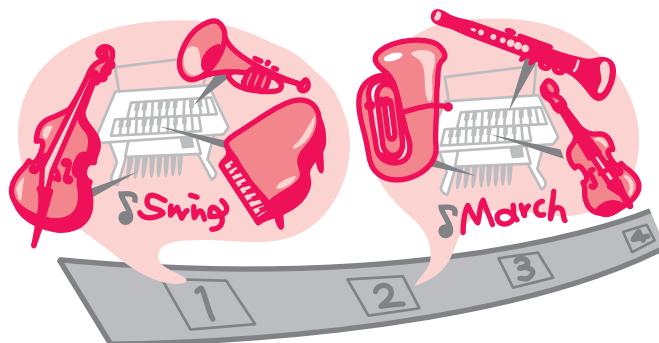
たとえば上鍵盤をトランペット、下鍵盤をピアノ、ペダル鍵盤をウッドベース、リズムをスイングにセットしたとするでしょ。

その一組のセットのことを「レジストレーション」というんだ。

そのセット一組一組を、鍵盤の間にある①～⑧のボタンにしまっておくんだ。

それらのボタンをレジストレーションメモリーボタンっていうんだ。

場面場面で好きなセットを(メモリーボタンを押して)呼び出して使うことができるんだ。



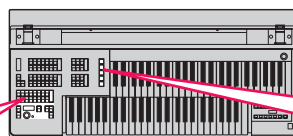
EL-200の場合は1つのソングで8セットまで登録できるからね。

じゃ、実際に・・・メモリー作業をしてみよう。

基本レジストレーション3を押して、

リズムのパートのみ変更してみるよ。

ボリュームの上から3つめを押してみる。



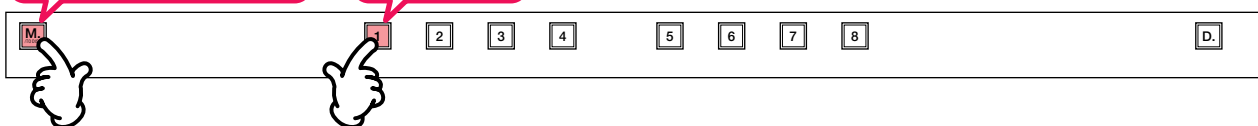
うん大丈夫。できた。




でね、それをメモリー①にしまおう(メモリーする!っていうんだよ)。


M./TO DISKボタンを押しながら

①のボタンを押す





M./TO DISK(メモリー)ボタンを押しながらメモリー①のボタンを押すんだよ。
点滅し終わったら終了!

 ^{うえけんばん} ^{おんしよく} ^か 上鍵盤の音色だけをピアノに変えて、メモリー②にもセットしてみてください。

 けっこうカンタン!





 セットしたら、ちゃんと確認してね。
メモリー1と2、ちゃんと違っていたかな?


 バッチリ!

基本レジストレーションってなに？



 この絵の書いてある5つのボタンってなに？

 これはね、『基本レジストレーション』っていうね、^{うえけんばん} ^{したけんばん} ^{けんばん} ^{おんしよく} 上鍵盤、下鍵盤、ペダル鍵盤の音色の組み合わせ(レジストレーション)がもう最初からセットされているボタンなんだ。

 それぞれ、絵にかいてあるイメージの音色セットなんだよ。(取扱説明書11ページ参照)

基本レジストレーション

<p>上鍵盤:プラス 下鍵盤:ホルン ペダル:チューバ</p>	<p>1</p>	<p>上鍵盤:ストリングス 下鍵盤:ストリングス ペダル:コントラバス</p>
<p>上鍵盤:コズミック 下鍵盤:コズミック2* ペダル:コズミック2*</p>	<p>2</p>	<p>上鍵盤:フルート 下鍵盤:ピアノ ペダル:コントラバス</p>
<p>上鍵盤:シンセプラス* 下鍵盤:コズミック3* ペダル:シンセベース*</p>	<p>3</p>	
<p>* EL-200では直接選択できない音色が含まれています。</p>	<p>4</p>	
	<p>5</p>	

この状態からいろいろ変化させて使うといいよ。

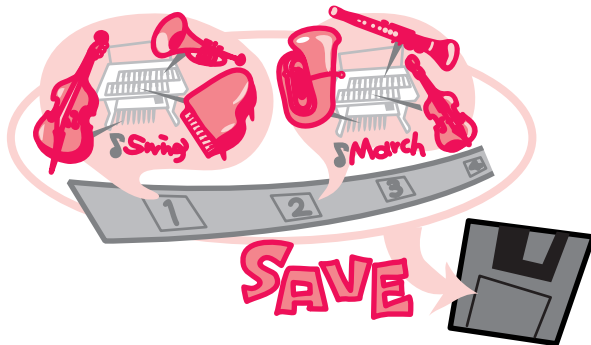
たとえば、ある音色だけ変更したり、リードボイスを加えたり、好きなリズムパターンを加えたりしてさらに豪華に・・・などなどいろいろ考えられるよね。

気に入ったレジストレーションができたなら、メモリー(23ページ)をしておこう。
楽しんでみてね。

レジストレーションをフロッピーディスクに保存しておこう



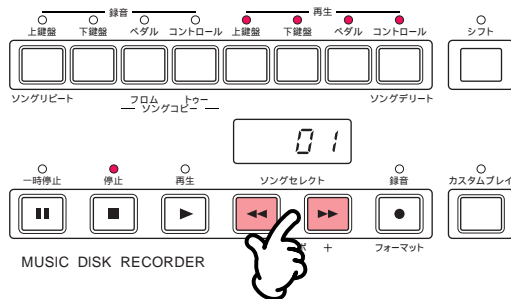
せっかく作ったレジストレーションは、とっておきたいよね。
MDRにとっておく操作を覚えよう。



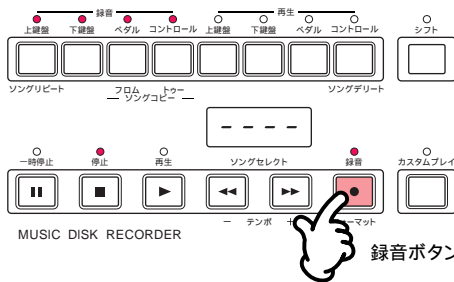
コラム

とっておくことをSAVE(セーブ)するということだよ。

エレクトーン用にフォーマットされた(下記コラム参照)フロッピーディスクをMDRに入れ、ソングセレクトボタンでしまっておく番号を選ぶ(たとえば01)。



MDRの録音ボタンを押しながら、
M./TO DISKボタンをオン!



自然にMDRがストップするから安心。

簡単でしょ!



ほんと。
使いたいときは、そのソングを選んで、再生ボタンを押せばいいのよね。

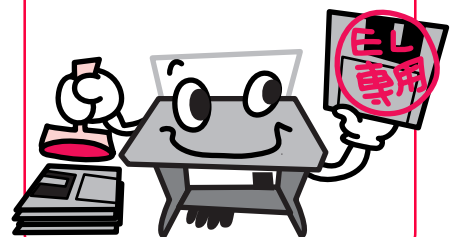


コラム

フォーマット

新しいフロッピーディスクをエレクトーン用に作業のこと。フロッピーディスクをMDRに入れて、シフトボタンを押しながら録音ボタンをオン。MDRのディスプレイが160から順にカウントダウンして00になって、01表示に戻ったら終了。この作業は一度やればOK!使うたびにやると、中身がゼ～ンブ消えてしまいます。

(MDRパネル図は9ページ参照)



リバーブってなに？



リバーブってなあに？



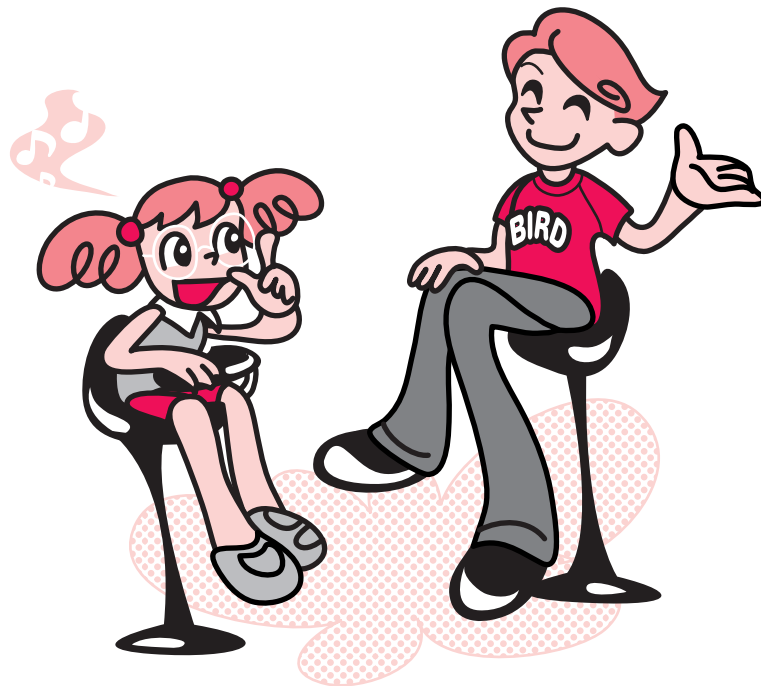
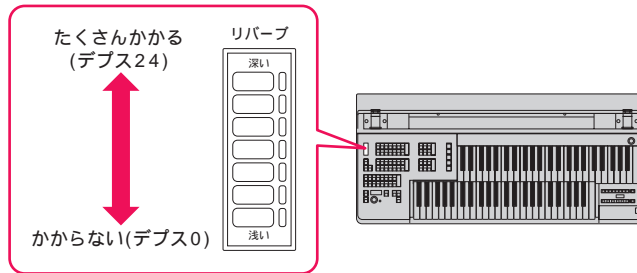
エレキトーン^{ぜんたい}全体の音の^{おと}残響^{ざんきょう}のこと。




残響^{ざんきょう}・・・？




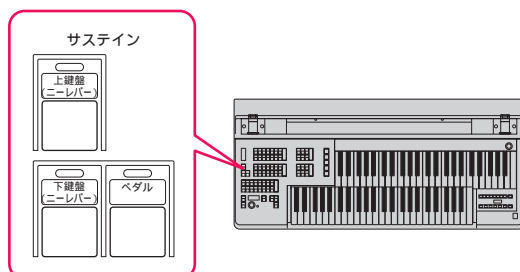
大きなホールとかで^て手をたたくと、「パ〜ン」と^{ひび}響くでしょ。
ああいう^{じょうたい}状態^{つく}を作ってあげるのがリバーブ。
パネル^{ひだりうえ}左上にあるボタンで、セットするよ。



サステインってなに？

 サステインってなあに？

 ひ 弾いた音、おと 1音1音の余韻のこと・・・
 まあ実際に体験してみよう。



基本レジストレーション3でサステイン体験


基本レジストレーション3をオン！


下鍵盤にはピアノがセットされてるね。
 サステインの下鍵盤ボタンを押すと、ランプがつくね。





基本
レジストレーション



 下鍵盤弾いてみてごらん。音がのびるでしょ。

 ほんと。ポ～ンってのびるわ。

 オンとオフでの違いを聴き比べてみようね。


 ああ、やっぱりちがうわね。




ニーレバーはたたんでおこう！
 ニーレバーの使い方は、取扱説明書
 49ページを参照してね。



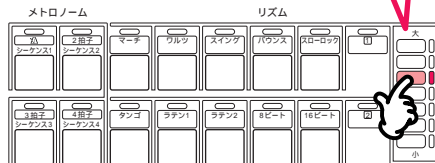
フットスイッチってなに？


 みぎあし
右足をのせているエクスプレッションペダルの
りょうがわ
両側にボタン(スイッチ)があるでしょ？
それを、フットスイッチっていうんだ。

 これね。





リズムの音量をあげておいてね。




 ひだりがわ
まず、左側のスイッチのことを説明するね。
せつめい
ちょっとお
押ししてみて。

 あ～。リズムがスタートした。

 もう一度お
押しして。

 こんど
今度は止まった。

 このスイッチは、リズムのスタート、ストップの操作ができるようになっているんだ。



コラム

市販の曲集などの中にはフットスイッチによって、リズムのスタート、ストップ以外の操作をするようにセットされているものもあります。

EL-200自体ではモードは固定(シフトのみ)ですが、曲集など、上位機種で制作したものはきちんと再生できます。EL-200の大きな特長です。

上位機種で作ったデータの中には、フットスイッチを押すと下記のようなモードになるようにセットされているものもあります。覚えておこうね。

グライド..... 弾いた音が下からしゃくりあげたようになる
トレモロ..... トレモロのオン、オフができる
フィルイン..... リズムのフィルインのパターンが出る
(取扱説明書20ページ参照)

レジストレーションシフト



28ページで説明した、フットスイッチ。あの右側のほうのフットスイッチのことを、レジストレーションシフトスイッチっていうんだよ。

レジストレーションメモリーってね、手で押す以外に、この右のフットスイッチで変える操作ができるんだ。これが便利なんだ。
演奏してて手を鍵盤から離さずに、右に押すだけで、セットしておいた番号に変わってくれるよ。



それは便利！



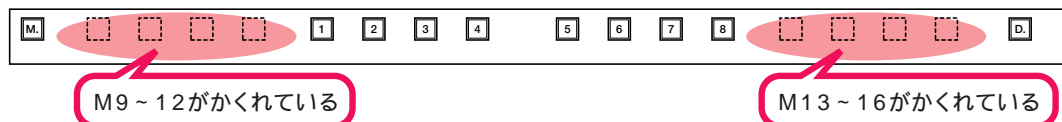
①を押してフットスイッチを押してみて。



うわあ。次々と隣の番号に進んでいくー。



①・②・③・・・⑧まで行くと消えちゃうよっ。
今ね、このEL-200に隠れているメモリー⑨～⑬のところにおじゃましているところ。



ずっと押していると、ほらっ、また登場！
こうして、順序よく進むフットスイッチの動きを『シフト』っていうんだ。



市販の曲集などの中にはフットスイッチによってメモリーナンバーを変更する場合、あらかじめ順番を自由に組んであるものがあります。このシフトを『ユーザーシフト』といいます。
EL-200自体ではモードは固定(シフトのみ)ですが、曲集など、上位機種で制作したものはきちんと再生できます。EL-200の大きな特長です。

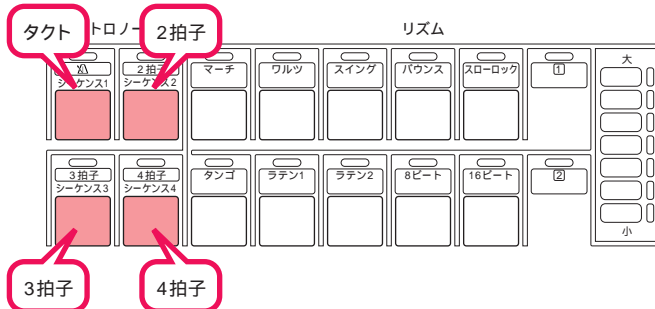
上位機種で作成したデータは再生できるので、上位機種のモードを理解しておこうね。

オフ 動かない
シフト 順に進む
ユーザー あらかじめセットされた順に進む

メトロノーム機能 きのう



パネルのリズムセクションの左の方に4つのボタンがあるでしょ。

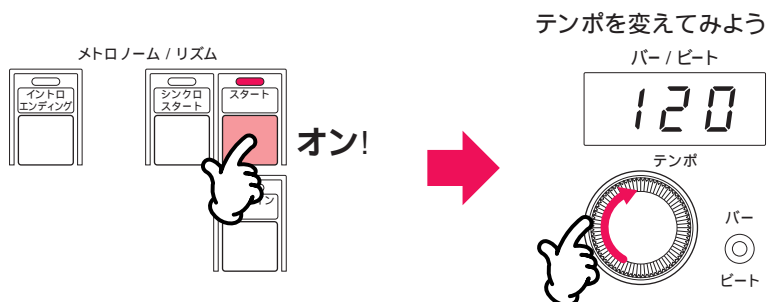


ここには、メトロノームになるリズムが入っているんだ。

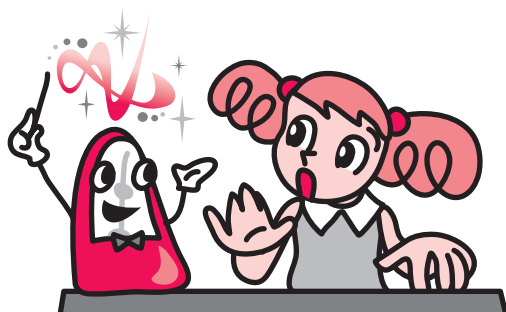
ボタンを選んで、



リズムスタートボタンをオン！テンポは自由に変更できるよ。



8ページで聴いた『ELはじめてディスク』や、市販の曲集などを再生すると、このボタンは、リズムパターンがた〜くさん並んで詰まっている、『シーケンス』っていうボタンに変身するんだよ。シーケンスについては、取扱説明書24ページを参照してネ。



コラム

基本レジストレーションのボタンを押すと、メトロノーム機能にもどるヨ！

市販の曲集の使い方

市販の曲集も使える？

もちろん。今後出る曲集はちゃんとEL-200対応ソングがあるよ。それに、今まで出ていた楽譜でEL-200って書いてなくても、EL-500のソングを使えばいいんだ。ばっちり再生可能！！

EL-900m, 900	SONG 01
EL-700, 500, 400, 200	SONG 02
EL-90, 87	SONG 03
EL-70, 57, 50, 37	SONG 04

EL-700、500、400、200のソングを使える

EL-900	SONG 01
EL-700, 500	SONG 02
EL-90, 87	SONG 03
EL-70	SONG 04
EL-57, 50, 37	SONG 05

EL-700、500のソングを使える

EL-90, 87	SONG 01
EL-70	SONG 02
EL-57, 50, 37	SONG 03
EL-27	SONG 04

EL-90、87のソングでOK!

EL-500のでいいの？ 出ない音ない？

ないんだなあ・・・すべてちゃんと出るんだ。

すごい。なんか得した気分。

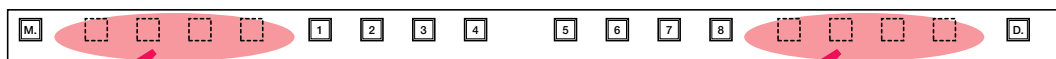
も - っと昔のだってEL-90/87のソングがほとんど再生できちゃうんだ。

EL-500もそうなんだけど、メモリーの数はずっと8つでも、16個のメモリーを使った、たとえばEL-700のデータも再生できちゃうんだよ。

自分で作れるのは8個までだけど、再生はメモリー1～16までOK!

メモリーナンバーの9～16は隠れているんだ。

へ～、不思議ね。



M9～12がかくれている

M13～16がかくれている

“ELはじめてディスク”を再生すると、ときどきランプが消えたでしょ。

そーか、あの時はメモリー9～16のどれかのレジストレーションメモリーで演奏していたってことね。



エレクトーンの専用曲集はね、ヤマハミュージックメディアってところから
たくさん出版されているんだ。
これがそのおもな曲集シリーズの体系図。

ヒットソング・シリーズ

- エレクトーン ヒットソング・シリーズ9～8級
- エレクトーン ヒットソング・シリーズ7～6級
- エレクトーン ヒットソング・シリーズ5～3級

アーティスト・シリーズ

- エレクトーン アーティスト・シリーズ9～8級
- エレクトーン アーティスト・シリーズ7～6級
- エレクトーン アーティスト・シリーズ5～3級

ポピュラー・シリーズ

- エレクトーン ポピュラー・シリーズ9～8級
- エレクトーン ポピュラー・シリーズ9～8級
- エレクトーン ポピュラー・シリーズ9～8級

クラシック・シリーズ

- エレクトーン クラシック・シリーズ9～8級
- エレクトーン クラシック・シリーズ7～6級
- エレクトーン クラシック・シリーズ5～3級

ディズニー・シリーズ

- エレクトーン ディズニー・シリーズ9～8級
- エレクトーン ディズニー・シリーズ7～6級
- エレクトーン ディズニー・シリーズ5～3級

パーソナル・シリーズ

- エレクトーン パーソナル・シリーズ7～6級
- エレクトーン パーソナル・シリーズ5～3級

サポート付曲集シリーズ

- エレクトーン サポート付曲集シリーズ 入門
(右手だけで弾けるはじめてのエレクトーン)
- エレクトーン こどものサポート付曲集シリーズ 入門～初級
- エレクトーン サポート付曲集シリーズ 入門～初級
- エレクトーン サポート付曲集シリーズ 初級～中級
- エレクトーン サポート付曲集シリーズ 中級～上級



用途によってさまざまな曲集がいっぱいだね。



ホントね。




この他に“月刊エレクトーン”って雑誌もあってネ、
毎月の新曲や、エレクトーンの最新情報などが満載
なんだ。


レジストレーションもMuma(ミューマ)という
データの自動販売機で買えるし超便利!!

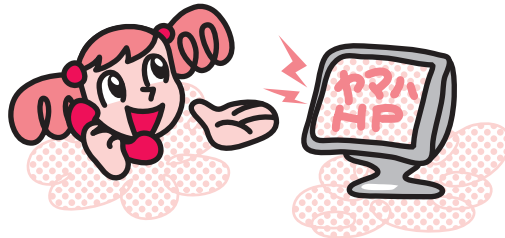
6000曲以上もあるXGソングデータライブラリーの
データも再生可能!!



エレクトーンのことではわからないことがあったら・・・

 こんご 今後エレクトーンの機能のことでわからないことがあったらどーしたらいいの？

 ヤマハに“エレクトーンインフォメーション”というところがあるんだ。
でんわ 電話してみて。



エレクトーンインフォメーション

0120-186-808 (フリーダイヤル) だよ。

あと、ヤマハのホームページもあるよ。

<http://www.yamaha.co.jp>

きょくしゅう かん 曲集に関するのなら

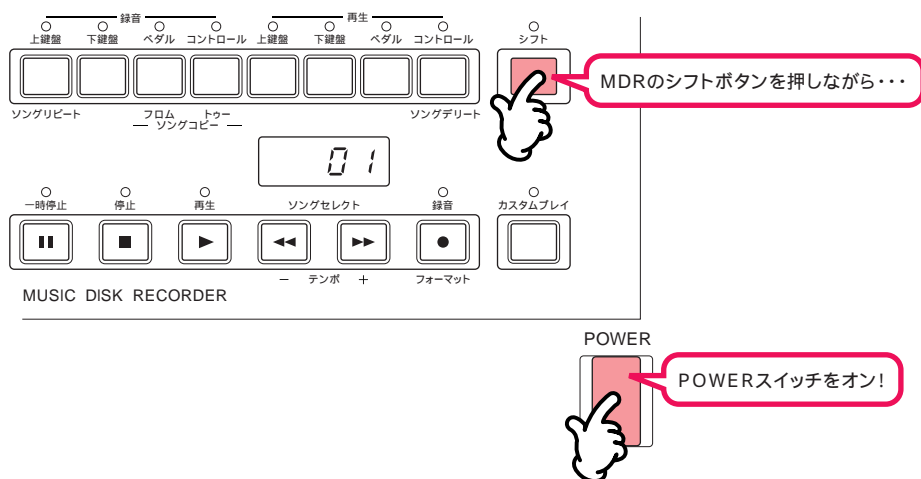
YMM (ヤマハミュージックメディア) のホームページをどーぞ!

<http://www.ymm.co.jp/>

EL-200 こんなときは・・・こうしよう！

レジストレーションオートチェンジ^{じどう}でレジストレーションメモリーをチェンジするデータ^{せんせい}を先生がつくってくれた場合^{ばあい}

レジストレーションオートチェンジ^{せんせい}を先生^{じぶん}(または自分^{つく})で作った場合は曲の強弱^{ばあい}をエクスプレッションペダル^{きよく}を使って自分で操作^{きょうじゃく}できない状態^{つか}になっています。
下記の操作^{じぶん}をしてから再生^{そうさ}する必要があります^{さいせい}。



この操作^{そうさ}は一度^{いちど}行なうと、電源^{おこ}を切るまで有効^{でんげん}です。
市販^{しはん}の曲集^{きょくしゅう}の場合は、この操作^{そうさ}は必要^{ひつよう}ありません^{じどうてき}(自動的にこの状態^{じょうたい}になります)。

レジストシフトユーザー^{さんしやう}(29ページ参照^{つか})を使った曲集^{きょくしゅう}の曲^{きょく}をもう一度^{いちど}弾く場合^{ばあい}

レジストシフトユーザー^{つか}を使った曲集^{きょくしゅう}の曲^{きょく}を最後まで^{さいご}シフトし、弾き終わって^ひからもう一度^{いちど}始めから弾く場合は、再度^{はじ}再生^ひボタン^{ばあい}(▶)でレジストレーション^{さいど}を読み込み^{さいせい}しましょう。

ようご エレクトーン用語いろいろ

L.K.

ローキーボードの略、下鍵盤のこと。

MDR(エム ディー アール)

ミュージックディスクレコーダーの略、フロッピーディスクを入れ、再生や録音をする機械(9ページ)。

P.K.

ペダルキーボードの略、ペダル鍵盤のこと。

U.K.

アッパーキーボードの略、上鍵盤のこと。

アフタータッチ(AFTER TOUCH)

鍵盤を後から押すタッチのこと。

イニシャルタッチ(INITIAL TOUCH)

鍵盤を弾くときのタッチのこと。

エクスペッションペダル

右足を乗せ、演奏中に音量を調節するペダルのこと。

キーボードパーカッション

下鍵盤やペダル鍵盤で、いろいろな打楽器の音を出す機能のこと。

基本レジストレーション

パネル上にある5種類のレジストレーションボタンのこと。幅広い音楽ジャンルの中の代表的な音色設定(24ページ)。

トゥー ロウ -

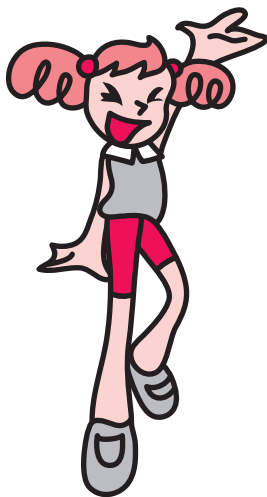
リードボイスとペダルボイスにあるボタンのひとつ。リードボイス、またはペダルボイスの音色を下鍵盤で出したいときに使う。

メモリーボタン

レジストレーションメモリーを記憶させるボタン。EL-400では8つのメモリーボタンがある(23ページ)。

レジスト(レジストレーション)

上鍵盤、下鍵盤、ペダル鍵盤の音色、リズム、アカンパニメント、エフェクトなどの組み合わせのこと(23ページ)。



ヤマハ株式会社

エレクトーンに関するあらゆる質問にお答えします。

エレクトーンインフォメーション

営業時間:月～金 10:00～12:00 13:00～17:00

フリーダイヤル  0120-186-808

インターネットホームページ
<http://www.yamaha.co.jp/>



この取扱説明書は
大豆油インクで印刷しています。



この取扱説明書は
エコマーク認定の
再生紙を使用しています。



この取扱説明書は
エコパルプ(ECF:無塩素系漂白パルプ)
を使用しています。